

「SS 科学探究 I」自己評価・妥当性評価シート

学 籍 番 号				氏 名				学科・コース・類型(1年生は予定類型)				性別				
学 年	1	●	②	③					数理 理系 文系 英語				男 女			
組	10の位	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	●		● ② ③ ④		
	1の位	1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
番 号	10の位		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	ポスター番号		研究テーマ	
	1の位		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				

I 統計グラフコンクール、山口大学研修事前学習、JSS、課題研究のテーマ・仮説設定など、「SS 科学探究 I」の学習についての質問です。下表に示す能力について、高校に入学した頃と現在のそれぞれについて、自分自身の探究能力を自己評価してください。

探究のプロセス	キーワード	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	学習者の自己評価	担当教師の妥当性評価
	キーワードA キーワードB	△	○	◎	◎		
事象に疑問↓仮説を検討↓検証活動を計画	① 科学的な疑問に答えるために、実験を行うなど適切な取組み方を決定することができる。	A科学的な疑問に興味 B仮説と取組みの決定	科学の課題に興味を持ちとうとしている。	科学の課題に興味を持ち、適切な取組み方を決定しようとしている。	科学の疑問に深い興味を持ち、仮説に基づいて適切な取組み方を自分で決めることができる。	科学の疑問に深い興味を持ち、仮説に基づいて適切な取組み方を深く考察し、自分で決定することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕
	② 自身に与えられた情報源から適切な情報源を選択することができる。	A情報源に対する理解 B情報源を選択	文献・図書や研究事例などの情報源を理解しようとしている。	文献・図書や研究事例などの情報源を理解し、適切な情報をしようとしている。	文献・図書や研究事例などの情報源の特徴を深く理解し、適切な情報を選択できる。	文献・図書や研究事例・論文などの情報源の特徴を深く理解し、自分の活動に適切な情報を効果的に選択できる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕
	③ 一つの要因以外を同じに保ったまま、その要因をいかに変化させるかを記述することができる。	A要因の抽出 B実験計画の記述	現象に関連する要因を抽出しようとしている。	現象に関連する要因を抽出し、その要因をいかに変化させるかを考えようとしている。	現象に関連する適切な特定要因を抽出し、その要因をいかに変化させるかを記述することができる。	現象に関連する適切な特定要因を抽出し、それ以外の要因を一定に保ったまま特定要因を変化させる方法を明確に記述することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕
	④ 課題に対して、ふさわしい装置を選択し適切な観察と測定を行うことができる。	A装置の選択 B観察と測定	課題に対して、ふさわしい装置を選択しようとしている。	課題にふさわしい装置を選択し、適切な観察・測定を行おうとしている。	課題に最もふさわしい装置を選択し、適切な観察・測定を行うことができる。	課題に最もふさわしい装置を選択し、適切な正確性を保って観察・測定を行うことができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕
データ収集	⑤ 表とグラフを用いて、観察したことを記録したり、比較したりすることができる。	A表とグラフで記録 B表とグラフで比較	表と棒グラフを用いて、データを整理しようとしている。	表と棒グラフを用いてデータを整理・記録し、比較しようとしている。	表と棒グラフを用いて効果的にデータを整理・記録・表現し、データの特徴を比較できる。	表と棒グラフを用いて効果的にデータを整理・記録・表現し、データの特徴を適切に比較できる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕
	⑥ 自分でグラフを作成し、データ中のパターンを指摘・解釈することができる。	A自分でグラフを作成 Bデータのパターンを指摘・解釈	自分でグラフを作成しようとしている。	適切なグラフを作成し、データ中のパターンを指摘しようとしている。	効果的なグラフを作成し、データ中のパターンを指摘したり解釈したりすることができる。	効果的なグラフを作成し、データ中のパターンを適切に指摘したり解釈したりすることができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕
分析↓結論↓発表	⑦ 適切な科学用語を用いて、結論を伝達することができる。	A科学用語を使用 B結論を伝達	科学用語を用いて、発表しようとしている。	適切な科学用語を用いて、内容を発表しようとしている。	専門的な科学用語を用いて、結論を伝達することができる。	専門的な科学用語を用いて、結論を定性的・定量的に伝達することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕
	探究能力評価の集計（現在の合計）						

II 課題研究のグループ活動について、自分自身の役割を自己評価してください。

評価基準 ①全く思わない ②あまり思わない ③少し思う ④非常に思う

探究のプロセス	グループ活動での役割	自己評価	妥当性評価
研 究 テ ー マ	研究テーマの設定に中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
事 前 調 査	事前調査の資料収集では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
仮 説 の 設 定	仮説の設定では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
研 究 計 画	研究計画の作成に、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
調 査 ・ 研 究 の 実 施 と 記 録	調査・研究の実施・記録では、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
批 判 的 考 察 と 展 望	発表用ポスターの作成では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
研 究 発 表 ・ 論 文	発表会当日は、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
(リーダースhip)	グループのリーダーとして、研究を推進した。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
活動評価の集計（現在の合計）			

「SS 科学探究 II」自己評価・妥当性評価シート

学 籍 番 号				氏 名				学科・コース・類型(1年生は予定類型)				性別				
学 年	1	①	●	③									男 女			
組	10の位	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	●			● ② ③ ④	
	1の位	1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
番 号	10の位		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	ポスター番号		研究テーマ	
	1の位		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				

I 高校の学習で身に付けた探究能力についての質問です。下表に示す能力について、高校に入学した頃と現在のそれぞれについて、自分自身の探究能力を自己評価してください。

探究のプロセス	キーワード	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	学習者の自己評価	担当教師の妥当性評価	
	キーワードA	△	○	◎	◎			
	キーワードB	△	△	○	◎			
事前・簡易・仮説を検討し・検証活動を計画	① 科学的知識と理解を用いて、適切な測定状況を設定することができる。	A 科学的知識と理解 B 測定状況の設定	科学的知識を用いて、適切な測定状況を設定しようとしている。	科学的知識に基づいて、適切な測定状況を設定しようとしている。	科学的知識と理解に基づいて、適切な測定状況を設定することができる。	科学的知識と理解に基づいて、測定精度を考慮した測定状況を設定することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ④ ⊕	
	② 科学的知識と理解に基づいて測定結果を予測することができる。	A 科学的知識と理解 B 結果を予測	科学的な疑問に答えるために、実験を行うなど適切な取り組み方を決定することができる。	科学的な疑問に答えるために、実験を行うなど適切な取り組み方を見分けることができる。	科学的な疑問に答えるために、科学的知識と理解を用いて測定状況を設定することができる。	科学的な疑問に答えるために、科学的知識と理解を用いて適切な測定状況を決定することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ④ ⊕	
データ収集	③ 課題に対して十分な測定や比較・観察を行うことができる。	A 十分な測定 B 十分な比較	十分なデータを得るために、測定や比較を繰り返し行うおとしている。	十分なデータを得るために測定を繰り返し行い、比較・観察を行うおとしている。	信頼できるデータを得るために測定を繰り返し行い、課題に対して十分な比較・観察を行うおとしている。	信頼できるデータを得るために測定を繰り返し行い、課題に対して十分な比較・観察を行うおとしている。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ④ ⊕	
分析・結論・発表	④ グラフや図形を用いて効果的にデータや特徴を表現することができる。	A データの表現 B 特徴の表現	グラフを用いて、データを表現しようとしている。	グラフを用いてデータを表現し、図形を用いて特徴を表現しようとしている。	グラフを用いてデータを効果的に表現し、図形を用いて特徴を表現することができる。	グラフを用いてデータを効果的に表現し、図形を用いて特徴を効果的に表現することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ④ ⊕	
	⑤ 主なパターンにうまく合わない測定結果を識別することができる。	A パターンを指摘 B 結果を識別	データ中のパターンを指摘しようとしている。	データ中のパターンを指摘し、識別や解釈しようとしている。	データ中の主なパターンを指摘し、識別や解釈をすることができる。	データ中の主なパターンを指摘し、うまく合わない測定・観察の結果を識別することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ④ ⊕	
	⑥ 測定結果に一致する結論を導き、科学的知識と理解を用いて結論を説明することができる。	A 結論を導く B 結論を説明	測定結果に一致する結論を導こうとしている。	測定結果に一致する結論を導き、説明しようとしている。	測定結果に一致する結論を科学的思考によって導き、説明することができる。	測定結果に一致する結論を科学的思考によって導き、科学的知識と理解を用いて説明することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ④ ⊕	
	⑦ 実験方法がいかに改善されるかについて、提案することができる。	A 実験方法の改善 B 実験方法の提案	実験方法を改善しようとしている。	実験方法の改善点を考察し、提案しようとしている。	実験方法がいかに改善されるかについて、提案することができる。	実験方法がいかに改善されるかについて、理由とともに実際の提案をすることができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ④ ⊕	
探究能力評価の集計 (現在の合計)								

II 課題研究のグループ活動について、自分自身の役割を自己評価してください。

評価基準 ①全く思わない ②あまり思わない ③少し思う ④非常に思う

探究のプロセス	グループ活動での役割	自己評価	妥当性評価
研 究 テ ー マ	研究テーマの設定に中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
事 前 調 査	事前調査の資料収集では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
仮 説 の 設 定	仮説の設定では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
研 究 計 画	研究計画の作成に、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
調 査 ・ 研 究 の 実 施 と 記 録	調査・研究の実施・記録では、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
批 判 的 考 察 と 展 望	発表用ポスターの作成では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
研 究 発 表 ・ 論 文 (リーダースhip)	発表会当日は、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
	グループのリーダーとして、研究を推進した。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ④ ⊕
活動評価の集計 (現在の合計)			

「SS 科学探究Ⅲ」自己評価・妥当性評価シート

学 籍 番 号			氏 名				学科・コース・類型(1年生は予定類型)				性別	
学 年	1	① ② ●					数理 理系 文系 英語				男 女	
組	10の位	0 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ●					↓ ② ③ ④					
	1の位	1 ● ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩										
番 号	10の位	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	ポスター番号		研究テーマ							
	1の位	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩										

I 高校の学習で身に付けた探究能力についての質問です。下表に示す能力について、高校に入学した頃と現在のそれぞれについて、自分自身の探究能力を自己評価してください。

探究のプロセス	キーワード	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	学習者の自己評価	担当教師の妥当性評価	
	キーワードA	△	○	◎	◎			
	キーワードB	△	△	○	◎			
① 科学的探究のテーマについて、具体的な事例を見つけることができる。 ② 科学的知識と理解を用いて、科学的な疑問を調査・研究する方法を選択することができる。	A 探究テーマの決定 B 仮説の決定	科学的課題を理解し、研究テーマを決めようとしている。	科学的な理解に基づいて研究テーマを決め、仮説を考えようとしている。	科学的な理解に基づいて研究テーマを決め、仮説を考えようとしている。	科学的な理解に基づいて研究テーマを決め、適切な仮説を決めることができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
	A 科学的知識と理解 B 調査・研究方法の選択	調査・研究する方法を選択するために、科学的知識と理解を用いようとしている。	科学的知識と理解を用いて、科学的な疑問を調査・研究する方法を選択しようとしている。	科学的知識と深い理解に基づいて、科学的な疑問を調査・研究する方法を選択することができる。	科学的知識と深い理解に基づいて、科学的な疑問を調査・研究する方法を選択することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
③ 一定範囲の情報源を活用して、データを評価・選択することができる。 ④ 変量間の関係を検証するために必要な測定精度を決定することができる。	A 情報源を活用 B データの評価・選択	一定範囲の情報源を活用しようとしている。	一定範囲の情報源を活用して、測定データを評価・選択しようとしている。	一定範囲の情報源を有効に活用して、測定データを評価・選択することができる。	一定範囲の情報源を有効に活用して、測定データを評価・選択、合成することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
	A 測定精度の決定 B 変量間の関係を検証	必要な測定精度を決定しようとしている。	必要な測定精度を決定し、変量間の関係を検証しようとしている。	必要な測定精度の要件を満たすデータを収集し、変量間の関係を検証することができる。	必要な測定精度の要件を満たすデータを収集し、変量間の関係を詳細に検証することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
⑤ 不規則な測定・観察の結果を見分け、それを考慮してグラフに描くことができる。 ⑥ 収集したデータが結論を導くのに十分かどうかを、考察することができる。 ⑦ 科学的知識と理解を用いて、自らの証拠から結論を導くことができる。 ⑧ 多様な見方があることを示しつつ、見出した事柄と結論を、科学用語を用いて伝えることができる。	A 不規則な結果の見分け B 不規則な結果の考慮	不規則な測定・観察の結果を見分けようとしている。	不規則な測定・観察の結果を見分け、それを考慮してグラフを描こうとしている。	不規則な測定・観察の結果を的確な判断で見分け、それを考慮してグラフを描くことができる。	不規則な測定・観察の結果を的確な判断で見分け、特徴を考慮したグラフで表現することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
	A データ量の考察 B 結論を導く	データの量が十分であるかを考察しようとしている。	データの量が十分であることを考察し、結論を導こうとしている。	データの量が十分であることを慎重に考察し、結論を導くことができる。	データの量が十分であることを慎重に考察し、妥当な結論を導くことができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
	A 科学的知識と理解 B 結論を導く	結論を導くために科学的知識と理解を深めようとしている。	科学的知識と理解を用いて、結論を導こうとしている。	科学的知識と深い理解に基づいて、結論を導くことができる。	科学的知識と深い理解に基づいて、傾向を解釈して結論を導くことができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
	A 多様な見方 B 科学用語を用いて伝える	多様な見方があることを示そうとしている。	多様な見方があることを示しつつ、結論を伝えようとしている。	多様な見方を深く考察し、結論を伝えることができる。	多様な見方を深く考察し、広い範囲の科学用語を用いながら結論を伝えることができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④ ⊖ ⑦ ⊕	/	
探究能力評価の集計 (現在の合計)								

II 課題研究のグループ活動について、自分自身の役割を自己評価してください。

評価基準 ①全く思わない ②あまり思わない ③少し思う ④非常に思う

探究のプロセス	グループ活動での役割	自己評価	妥当性評価
研 究 テ ー マ	研究テーマの設定に中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
事 前 調 査	事前調査の資料収集では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
仮 説 の 設 定	仮説の設定では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
研 究 計 画	研究計画の作成に、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
調 査 ・ 研 究 の 実 施 と 記 録	調査・研究の実施・記録では、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
批 判 的 考 察 と 展 望	発表用ポスターの作成では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
研 究 発 表 ・ 論 文	発表会当日は、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
(リーダースhip)	グループのリーダーとして、研究を推進した。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ⑦ ⊕
活動評価の集計 (現在の合計)			

「SS 総合科学探究」自己評価・妥当性評価シート

学籍番号		氏名		学科・コース・類型(1年生は予定類型)	性別
学年	① ② ③			数理 理系 文系 英語	男 女
組	10の位 1の位	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩			
番号	10の位 1の位	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	ポスター番号	研究テーマ	

I 高校の学習で身に付けた探究能力についての質問です。下表に示す能力について、高校に入学した頃と現在のそれぞれについて、自分自身の探究能力を自己評価してください。

探究のプロセス	キーワード	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	学習者の自己評価	担当教師の妥当性評価
	キーワード(A)	△	○	◎	◎		
	キーワード(B)	△	△	○	◎		
事象に疑問↓仮説を検討↓検証活動を計画	① 学問や社会に存在する課題を知り、研究テーマを決めることができる。	① 学問や社会の課題を知る。	② 学問や社会の課題に興味を持ち、調査テーマを決める。	③ 学問や社会の課題を調査し、研究テーマを見つけようとしている。	④ 学問や社会に存在する課題を理解し、研究テーマを決めることができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④	— ⊖ ① ⊕
	② 文献・図書や研究事例などの情報源から、関連する用語や知識の理解を深めることができる。	① 情報源を理解。	② 図書や新聞などの事例から、関連する用語や知識を整理しようとしている。	③ 図書や新聞などの事例から、関連する用語や知識を整理しようとしている。	④ 文献・図書や研究事例などの情報源から、関連する用語や知識の理解を深めることができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④	— ⊖ ① ⊕
	③ 文献・図書や研究事例などの情報源から、仮説を設定することができる。	① 情報源を活用。	② 図書や新聞記事などの事例から、仮説を立てようとしている。	③ 図書や新聞記事などの事例から、仮説を考へようとしている。	④ 文献・図書や研究事例などの情報源から、思考に基づいた仮説を設定することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④	— ⊖ ① ⊕
	④ 文献調査、アンケート調査、インタビュー調査等の研究方法を理解し、研究計画を作成することができる。	① 研究方法を理解。	② 文献調査、アンケート調査、インタビュー調査等の方法を理解しようとしている。	③ 文献調査、アンケート調査、インタビュー調査等の方法を理解し、適切な手法を選択しようとしている。	④ 文献調査、アンケート調査、インタビュー調査等の方法を理解し、適切な手法を選択することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④	— ⊖ ① ⊕
データ収集	⑤ 調査・研究を実施し、その内容を記録することができる。	① 調査・研究を実施。	② 調査・研究を計画的に実施しようとしている。	③ 調査・研究を実施し、その内容を整理しようとしている。	④ 調査・研究を実施し、その内容を記録することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④	— ⊖ ① ⊕
	⑥ 調査・研究の結果をまとめて考察し、今後を展望することができる。	① 結果のまとめと考察。	② 調査・研究の結果をまとめて考察しようとしている。	③ 調査・研究の結果をまとめて考察し、結論を得ようとしている。	④ 調査・研究の結果をまとめて考察し、批判的な考察に基づいて展望しようとしている。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④	— ⊖ ① ⊕
分析↓結論↓発表	⑦ 研究内容を発表したり、論文にまとめて他者と共有することができる。	① 研究発表。	② 研究内容を発表しようとしている。	③ 研究内容を発表し、論文にまとめて他者と共有しようとしている。	④ 研究内容を発表したり、論文にまとめて他者と共有することができる。	入学頃 ① ② ③ ④ 現在 ① ② ③ ④	— ⊖ ① ⊕
	探究能力評価の集計 (現在の合計)						

II 課題研究のグループ活動について、自分自身の役割を自己評価してください。

評価基準 ①全く思わない ②あまり思わない ③少し思う ④非常に思う

探究のプロセス	グループ活動での役割	自己評価	妥当性評価
研究テーマ	研究テーマの設定に中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
事前調査	事前調査の資料収集では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
仮説の設定	仮説の設定では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
研究計画	研究計画の作成に、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
調査・研究の実施と記録	調査・研究の実施・記録では、中心的に関わった。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
批判的考察と展望	発表用ポスターの作成では、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
研究発表・論文	発表会当日は、中心的な役割を果たした。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
(リーダーシップ)	グループのリーダーとして、研究を推進した。	現在 ① ② ③ ④	⊖ ① ⊕
活動評価の集計 (現在の合計)			